

# 社会科学学習指導案

I 単 元 日本の歴史 —天皇中心の国づくり—

II 考 察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

イ 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活について調べ、天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことが分かること。

(2) 伸ばしたい主な資質・能力

- ・歴史上の人物の働きや文化遺産に関心をもち、意欲的に調べ、自分たちの生活の歴史的背景や先人の働きを考えようとする態度
- ・歴史上の人物の願いや働き、文化遺産の意味を考える力
- ・歴史上の人物の働きについて、観点に沿って調べたり、各種の基礎的資料から必要な情報を的確に読み取ったりしてまとめる力
- ・我が国の歴史の進展に大きな影響を与えた歴史的事象について理解する力

(3) 教材や学習対象の価値

本単元では、聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇らの人物の働きを通して、天皇を中心とした政治が確立されたことの学習を行う。その価値は、以下のとおりである。

聖徳太子による大陸文化の摂取や、中大兄皇子による大化の改新の事象を通して、我が国が先進的な政治を学び、政治改革を行ったことで、天皇中心の律令国家体制を整えていったことを捉えられる。また、聖武天皇らによる大仏造営の事象を通して、国家の政治が全国にまで及んだことも捉えられる。これらは、今日の国家・社会の基盤の一つであり、社会制度へとつながるものと言える。

これらの事象を追究することで、聖徳太子や中大兄皇子の政策と聖武天皇らの大仏造営事業とを関連付けて考え、課題の解決へ向けて尽力した先人の働きにより天皇中心の政治が確立し、国家・社会が発展してきたことを理解し、歴史への興味・関心を深めることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「奈良と平安の文化」で、これまでの大陸文化とは異なる貴族を中心とした日本独自の文化が起こったことを理解する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、6年「くになができるまで」において、くになが形成されて各地に支配者

が現れ、大和朝廷により国土の統一が進められた様子を話し合う学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・遺跡や遺物と人々の生活や社会の様子とを関連付け、時代ごとの特色を考えられるようになってきた。このような子どもたちが、聖武天皇の発案による大仏造営の実現と聖徳太子や中大兄皇子の政策との関連を考えられるように、聖武天皇が大仏造営を実現できた理由を図に表す活動を設定する。
- ・各地に支配者が現れ、大和朝廷により国土の統一が進められたことを理解してきた。このような子どもたちが、国家・社会の発展のために尽力した聖徳太子の政治や中大兄皇子の大化の改新によって政治の仕組みが整えられたことや、聖武天皇のころに天皇を中心とした政治が確立したことを理解できるように、聖徳太子と中大兄皇子が天皇中心の国づくりに貢献した大きさを話し合う活動を設定する。

### Ⅲ 目標及び評価規準

#### Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

#### Ⅴ 本時の学習

- ねらい 聖徳太子と中大兄皇子が天皇中心の国づくりに対する貢献の大きさについて話し合うことを通して、天皇中心の国づくりの起点をつくったことや政治改革を実行したことをそれぞれの働きのよさとして理解する。
- 準備 聖徳太子と中大兄皇子の絵 2人の人物の取組を記した短冊
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖徳太子の方がすごいと思うな。</li> </ul> </li> <li>2人の人物の貢献の大きさについて話し合い、自分の考えを明確にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中大兄皇子が天皇中心の政治の改革をしたけれど、聖徳太子が遣隋使を派遣して、大陸の文化を取り入れたからこそ実現したのではないかな。</li> <li>・天皇中心の国づくりを目指した太子と政治の仕組みを整えた皇子では、どちらが大きな働きをしたと言えるかな。</li> <li>・聖徳太子の考えを中大兄皇子が受け継いで実現したのだから、やっぱり聖徳太子の方が大きく貢献したと思うな。</li> </ul> </li> <li>本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・努力をした人々の手によって日本の社会や生活はよくなっていったのだな。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の学習を振り返るよう促し、本時の学習活動や目的を問いかける。</li> <li>○3～4人の小集団で考えを決定するよう促す。</li> <li>○小集団で決定したことの理由を質問し合うよう促す。</li> <li>○2人の人物の働きについて共有したことを基に、自分の考えを決定するよう促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">2人の人物の働きを意味付け、天皇中心の国をつくるために大きな貢献をした人物を決定した理由を記述している。</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習プリント(2)&gt;</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○決定した考えを発表するよう促す。</li> <li>○2人の人物の働きを自分なりに意味付けられたことを賞賛する。</li> </ul>

指導と評価の計画（全8時間）

目標	聖徳太子や中大兄皇子，聖武天皇らが行った取組から，それらの人物の働きを考え，天皇を中心とした政治が確立されたことを理解する。			
評価規準	<p>(1) 大陸文化の摂取や大化の改新，大仏造営の様子などの歴史的事象や当時の人々の社会に対する願いに関心を持ち，調べようとしている。</p> <p>(2) 聖徳太子や中大兄皇子，聖武天皇らが行った取組を比較・関連付け・総合して，それらの人物の働きを考え，表現している。</p> <p>(3) 大陸文化の摂取や大化の改新，大仏造営の様子などの歴史的事象やそれらに関わる人物について，年表・絵図・文章資料などを活用して調べたり，整理したりしている。</p> <p>(4) 聖徳太子や中大兄皇子により政治の仕組みが整い，聖武天皇のころに天皇を中心とした政治が確立されたことを理解する。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は，研究に関わる手立て）	評価項目<評価方法（観点）>
課 つ 題 か を む	1	<p>○聖徳太子や中大兄皇子，聖武天皇らの絵，時代背景を示す年表や資料などから疑問点や調べたいことを考え，課題意識をもつ。</p> <p style="text-align: center;">—— 共通課題 ——</p> <p style="text-align: center;">なぜ，聖武天皇はこれほど大きな大仏をつくることができたのだろう。</p>	○大仏造営の様子について疑問点や調べたいことを考えられるように，災害や疫病などにより混乱していた当時の社会の様子や大仏造営にかかった材料や費用，人数が分かる資料を提示する。	◇3人の人物や大仏造営の様子など，当時の出来事について疑問点や調べたいことを記述している。 <p style="text-align: right;">&lt;学習プリント（1）&gt;</p>
	追 究 す る	<p>3</p> <p>○聖徳太子や中大兄皇子，聖武天皇らの取組について調べる。</p> <p>&lt;調べる内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖徳太子の取組   ・中大兄皇子の取組</li> <li>・聖武天皇の取組   ・行基の取組</li> </ul> <p>2</p> <p>○調べたことを基に，聖武天皇が大仏をつくることができた理由を話し合う。</p>	<p>○複数の資料を基に，それぞれの人物の取組や大仏完成までの経緯について調べられるように，図書資料などの資料コーナーを設置する。</p> <p>○聖武天皇が大仏をつくることができた理由を整理して捉えられるように，調べた事象同士を小集団で図に表す活動を設定する。</p>	<p>◇複数の資料を活用し，それぞれの人物の取組と共通課題とを結び付けながら調べ，記述している。  <p style="text-align: right;">&lt;ノート（3）&gt;</p> <p>◇大仏造営が実現できた理由として，天皇中心の国づくりが進み，国家の仕組みが全国にまで及んだことなどを記述したり，発言したりしている。  <p style="text-align: right;">&lt;ノート・発言（4）&gt;</p> </p></p>
ま と め る	1	<p>○天皇中心の国づくりに関わった人物についての感想から疑問点を考え，課題意識をもつ。</p> <p style="text-align: center;">—— 共通課題 ——</p> <p style="text-align: center;">聖徳太子と中大兄皇子では，どちらが天皇中心の国をつくるために大きく貢献したと言えるのだろう。</p>	☆2人の人物の働きの大きさについて疑問点を考えられるように，既習の人物に対する感想を整理して板書する。	◇聖徳太子や中大兄皇子，聖武天皇らの働きに対する感想を交流したことを基に，それぞれの働きに対する評価の違いを記述したり，発言したりしている。 <p style="text-align: right;">&lt;ノート・発言（1）&gt;</p>
	1	<p><b>○聖徳太子と中大兄皇子が天皇中心の国づくりに貢献した大きさについて話し合い，自分の考えを決める。（本時）</b></p>	☆天皇中心の国をつくるために大きな貢献をした人物とその理由を明確にできるように，小集団や学級全体で意見交流する場を設定する。	◇2人の人物の働きを意味付け，天皇中心の国をつくるために大きな貢献をした人物を決定した理由を記述している。 <p style="text-align: right;">&lt;学習プリント（2）&gt;</p>